

第13回お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事要旨

日 時：平成31年3月26日 18時～20時00分

会 場：お茶の水小学校2階ランチルーム

出席委員：名簿順（敬称略） ■出席 □欠席

■山崎充彦委員 ■須賀雄一郎委員 ■熊井淑子委員 ■春田紀子委員 ■倉木嘉代子委員
■土屋真美委員 □高山肇委員 ■角谷幹夫委員 □西角邦夫委員 ■影山純子委員
■角谷幸男委員 ■中村榮太郎委員 ■渡邊圭一委員 □石澤長一郎委員
■木村美佐子委員 □小林泰治委員 ■田近恭一委員 ■土屋希美委員 ■五味美智子委員
■菅野豊委員 ■角谷幸子委員 □小林かおり委員
■太田耕司校長 ■村木久人教育担当部長

傍聴者：■3名

事務局：■小池正敏 ■須貝恵子 ■赤石晃朗 ■田島学 ■早川陽平 ■島田伸応 ■佐藤雅宏
■高木亮輔

オブザーバー：■小阿瀬神保町出張所長 ■猿渡神田公園出張所長 ■清水副校長、関口主幹

山下設計：□原田聡 □荒木了 ■前原竹二 ■松本晃治

議事：

1. 開会

2. 新委員紹介

児童保護会 わかば会 土屋真美 様

3. 実施設計中間報告

事務局より主な変更点の説明

- ・延べ床面積の増加
- ・1F：遊戯室と保育室3・4の位置を変更
- ・2F：事務室、印刷室、校長室の位置を変更
- ・5F：和室と家庭科室の位置を変更
- ・地下2F：備品倉庫、ピアノ庫を追加
- ・校庭：遊具のレイアウト変更

4. 質疑

〈人工芝について〉

- ・グラウンドの舗装について、人工芝となることは確定か（委員）
⇒確定ではないが、近年人工芝の採用実績が増えていることや、九段小にて子供たちが外で遊ぶ頻度が増えた等の実績をふまえ、ご提案させていただいた（事務局）
⇒人工芝は滑りやすくないか。革靴などで利用することはできるのか。またゴムチップに比べ熱くなったりはしないのか。張り替えなどのメンテナンスはどの程度の頻度で行う必要があるか（委員）

⇒ゴムチップと比べコスト面ではどのような違いがあるか(委員)

→革靴で利用できないことはないと思われるが、基本的には運動靴での利用を想定している。メンテナンスについては10年に1回程度の張り替えが必要となり、ランニングコストではやや高くなると思われる(事務局)

→熱対策については、黒色のチップではなく、緑色のクッション材を用いる事で熱くならないような仕様を想定している(山下設計)

・砂場で焼き芋を行うことは可能か

→可能。ただしグラウンドで行う場合は行う場合はコンパネ等で養生が必要となる(事務局)

・人工芝とした場合、環境汚染への配慮はどのように考えているか。また土にかえる素材を用いた人工芝もあると聞いている(委員)

→環境汚染対策について、ゴムチップ舗装と比較することを考えれば人工芝であってもほとんど差異はないと考えられる。(事務局)

⇒天然素材を混ぜ込んだ人工芝も販売されている。性能やコストバランスを含め採用製品を検討していく(山下設計)

・人工芝の場合、落ち葉などの清掃方法はどのように行うか。児童が行うのか。

→清掃は掃き掃除ではなく、ブロアーのようなもので吹き飛ばして清掃する形となる。清掃は主事あるいは委託業者が行う想定(事務局)

・人工芝の場合、水はけには問題がないか(委員)

→人工芝は透水性があり、水はけは問題ない。地下に体育館がある部分については体育館の屋根に傾斜をつけ、適切に排水できるよう計画している(山下設計)

・イベントの際には白バイなどがくることもある。車両の乗り入れは問題ないか(委員)

→緊急車両の乗り入れは別として、事前にわかっているイベント等の乗り入れの際は、コンパネを敷くなどの対策をとることが必要と考える。(事務局)

・人工芝とした場合、車いすの利用は可能か(委員)

→可能。ただし、通常の床と比べ、車輪を回す際の抵抗が多少大きくなると思われる(事務局)

・一輪車や竹馬の利用は可能か(委員)

→可能。体育館での利用も想定している(事務局)

・ポニーがくるイベントもある。糞などの処理はどうするのか(委員)

→拭き掃除が必要となる。あらかじめビニールシートなどで養生しておくなどの対策が必要と考えている(事務局)

〈オープン教室について〉

・オープン教室について、メリット・デメリットについてまとめた資料を作成した。本計画では、廊下と教室の間を建具とし、開放することが可能な仕様とすることで、オープン・クローズ両方に対応可能で、多様性を持った弾力的な授業を行うことができる計画としている。中央部の建具は壁状としており、閉鎖時には通常の壁面と同様となり、掲示も可能な計画としている(事務局)

⇒学校の先生方はオープン教室に賛成なのか(委員)

→今回の計画では閉めたまま運用が可能な計画となっており、オープンにも使えるので良いと考えている。ただし、中央の教室などはトイレの前となっているため、オープン教室の考え方について違うやり方があれば引き続き検討していただきたい(校長)

- ・パースをみると閉鎖的な気がする。固定された壁の方が良いと思う（委員）
 - ・オープン教室で無い方が良い。オープン教室だと集中できないのではないか。教育環境としては限られた場所で行った方が良いと思う（委員）
 - ・授業参観に行った際、掲示物で学校の様子を知ることが多い。掲示スペースは多く確保したほうが良い（委員）
 - ・当初からオープン教室には反対という意見が多かった。また、本日欠席の委員からも、オープン教室には反対との意見を頂いている。廊下と教室の間をオープンとすると、廊下も少なくなり、メリットが少ないのではないか。たとえば、教室と教室の間の壁を可動間仕切りとし、2教室を大きな1教室として使えるような方法も考えられるのではないか。本計画では普通教室が18教室あるので、そのうち6教室を前述のような2室一体利用可能な教室とするなど割り振ることもできるのではないか（会長）
 - ・そもそもオープン教室はどのように利用するのか（委員）
- 従来通りの教員が前に立ち、児童に教えていくような授業形態の場合は、閉鎖して利用することが想定される。ただし、最近では少人数のグループ学習など、教師が一方向的に教える従来の形態とは異なる授業形態もあり、その際には広いスペースや、教室以外の場所で授業も行う事が出来るような計画の方が望ましい（校長）
- ・小さい子供は、オープンで無い方が良いのではないか（委員）
 - ・以前見学に行った幼稚園では、オープン教室であったが子供たちは落ちついており、問題はない印象だった（委員）
 - ・オープンとした際、戸板を収納することはできないか。また、扉に掲示した状態で扉を開閉することはできるのか。防音性は壁と比べてどのような違いがあるのか。教室の前にオープンスペースがある部分とない部分があるが、教室間で差がでるのではないか（委員）
- 戸板を収納することは可能だが、その場合教室内へ収納スペースを設ける必要がある。今計画では教室のスペースを広く確保することを優先した計画としている。防音性については、壁と比べると若干劣る事が想定される。またオープン教室とする意図は、単に広いスペースを確保するというだけでなく、明るく開放的な教室とするなどのねらいもある（事務局）
- ・オープン教室として利用する頻度はどの程度なのか（委員）
- 九段小の実績で言うと、5教室あるうちの1～2教室程度がオープン教室として利用していた（事務局）
- ・そもそもオープン教室としたいというニーズはあるのか（委員）
- オープン教室の考え方は先生ごとにそれぞれあり、不要という人もいれば、あっても良いという人もいる（会長）
- ・基本的にはクロズの教室とし、一部の特別教室など、オープン教室として利用価値がある部分のみ、オープンできる仕様としてはどうか（委員）
 - ・作成していただいたメリット・デメリットの表を見ると、今計画のような建具で仕切る場合、掲示スペースが少ないという問題以外のデメリットは解消できるのではないか（委員）
- そもそもオープン教室にたくないという意見もある。教室間の壁を可動間仕切りとすることも考えられるが、こちらに対して意見はないか（会長）
- ⇒可動の物が増えるということはその分怪我などのリスクが増え危険だと思う。可動の物は少なくし、シンプルな形の方が良いのではないか（委員）

- ・今回の計画で、中央部分の扉は施錠可能なのか（委員）
- 施錠可能。中央部の扉については先生が開け閉めする事を想定している（事務局）
- ・メリットに比べデメリットの方が大きいと思う。デメリットについてこれだけ整理されているにもかかわらずオープン教室とする必要性がわからない。オープンとした場合、例えば運動会の練習などで利用できるのか（委員）
- オープンにもできる仕様で、通常時は閉鎖して利用することも可能（事務局）
- 運動会の練習は難しいと思われるが、例えば学芸会の練習などには活用できると考えている（校長）
- ・幼稚園の保育室はオープンなのか（委員）
- 保育室はオープンではない仕様を想定している（事務局）
- ・低学年などの教室は、授業に集中できるようオープン教室としない方が良いのではないかと。多目的な利用ができる高学年の教室はオープン教室としても良い。高学年であればメリットは大きいと思う（委員）
- ・教室を廊下と一体的に利用した場合、廊下の通行の妨げにもなるので好ましくないのではないかと（委員）
- ・オープン教室の扱いについては、教育現場の先生方にお任せしても良いのではないかと。（委員）
- 過去、間仕切りも何もないオープン教室が流行ったが、授業に集中できない等のデメリットが分かってきている。最近では、今回の提案と同様、建具を用いて閉める事もできるオープン教室が増えてきている。授業形態についても、いわゆる学校らしい学校で行われるような授業だけではなく、グループごとに異なる学習をしたり、模造紙を囲んで少人数でグループ学習を行ったり、ICT機器を用いた学習を行う機会も増えてきている。頻度としては、閉まった状況で行う授業の方が多いと思われるが、今後の学習環境がどのように変化していくかについては予測できないため、現状では、使い方を限定しない多様性のある学習環境を整備することが必要だと感じている。ただしトイレの前の2教室については、収納等の条件を他の教室と同等とできるのであれば、二室一体利用できる形としても良いのではないかと考えている（校長）
- ・オープン教室の扱いについては現場の事を良く知っている、教員の方々へお任せしても良いのではないかと。今回の提案はメリット・デメリットをふまえた上で、折衷案というような形でまとまっているように感じる（委員）
- ・扉については、掲示をしたまま動かすことはできないのか（委員）
- 掲示をしたまま扉を動かしたいという要望は伺っている。扉に枠を設け、掲示が可能な面を少し奥に配置することで、掲示をしたまま扉を動かすことができるよう、扉の形状を検討中である（山下設計）
- ・オープン教室については様々な意見がある。今後詳細に検討させていただく事でよろしいかと（会長）
- オープン教室の扱いについては現場の事を良く知っている、教員の方々へお任せしても良いのではないかと。扉の仕様については設計者へおまかせでもよいのではないかと（委員）
- これからの学校の教育の在り方を考えると、グループ学習や、学年単位での授業など様々な形態での授業が行われることが想定される。そういったものに対しても柔軟に対応できる方法として、九段小の方でも採用したオープン教室について今回も提案させていただいた。本日は様々な意見をいただいたので、引き続き教育委員会では、学校と協議しながら検討していく（事務局）

<その他>

- ・1階の備蓄倉庫は災害時用の倉庫となるのか（委員）
→災害用の備蓄倉庫である（事務局）

- ・トイレの形式について、トイレを全て洋式とした方が良いか、または和式のトイレを一カ所設けておいた方が良いか、意見があれば伺いたい（会長）
⇒洋式のみでよいのではないか（委員）
→他の事例で洋式を壊して和式をつかった事例もある（会長）
⇒最近和式を使う子は少なくなっている。和式があると、その分使える洋式便所が少なくなり、短い休み時間の間に利用することを考えると、全て洋式の方が良い（校長）
→全て洋式とする（委員長）

- ・地下二階のステージは固定式か。また体育館周囲に観覧席のようなものは設ける事は出来ないか（委員）
→ステージは固定式となり、ステージ下部に椅子の収納を可能な計画としている。観覧席を設ける計画とはしていない。メンテナンスデッキとして幅1.1m程度の通路を計画している（事務局）
⇒観覧スペースを少しでも多くしてほしい。計画の変更は可能か（委員）
→ミニバスケットコート2面、バスケットコート1面、バレーコート2面を確保すると現状の計画で、一杯の計画となる（事務局）
⇒体育館は地下となる。照明や空調の計画についても説明していただけるのか（委員）
→実施設計が進み説明できる状況になったところで説明を行う（事務局）

- ・ステージを可動とし、例えばバスケットの大会の時など、ステージを観覧席として利用できる計画とすることはできないか。生徒の待機場所や、応援するスペースも必要となるのではないか（委員）
→収納スペースを考慮して現計画としている（事務局）

- ・西側の廊下とステージ後方の廊下を、つなぐ事は可能か（委員）
→構造の制約上難しい。災害備蓄倉庫や備品倉庫の面積を減らし、西側廊下から体育館へ廊下をつなぐ事は可能だが、その代わり収納スペースが少なくなる（事務局）

- ・外観については提示できる資料はないのか（委員）
→図面が出来上がった段階でご提示する。何か要望があればいかがか（会長）
⇒西側のR面は顔となると思うので改めて提示していただきたい（委員）

- ・1階の植栽帯の樹木は新規となるのか。今咲いている桜は今年が最後となるのか（委員）
→樹木調査の結果に基づき移植が可能なものは移設を行う。桜については移植は難しいとの結果だった（事務局）

- ・東側道路境界線上の既存の塀について、耐震性は問題ないのか。新築の場合は塀についても新しくなるのか（委員）

→先日行った調査では特に問題があるとの報告はなかった。建替えの際には塀も新しいものとなる（事務局）

- ・実施設計については8月に完了予定。千代田区建築計画の早期周知に関する条例により看板設置を行う予定。看板設置は5/7（火）、近隣説明会は5/17（金）に行う予定（事務局）

以上